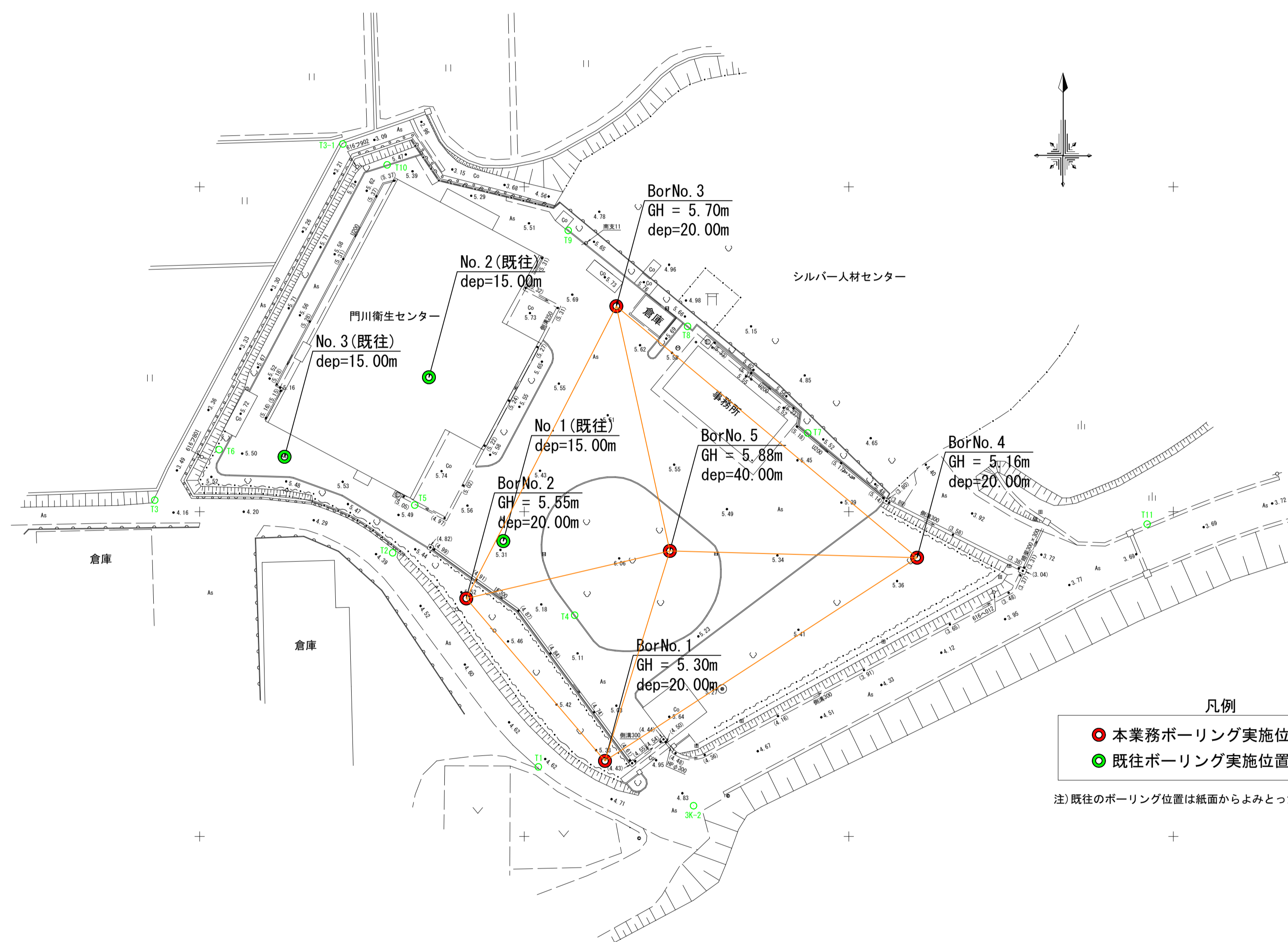
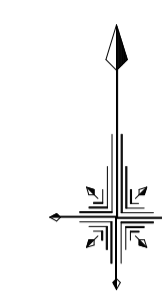


調査位置平面図 S=1:500

東臼杵郡門川尾末



- 凡例
- 本業務ボーリング実施位置 (5箇所)
 - 既往ボーリング実施位置 (3箇所)

注) 既往のボーリング位置は紙面からよみとったもので正確な位置は不明。

点名	X座標	Y座標	標高
3K-1	-59261.590	60351.731	3.720
3K-2	-59345.268	60376.082	4.814
3K-3	-59300.015	60252.702	3.851

点名	X座標	Y座標	標高
T1	-59339.288	60352.173	4.674
T2	-59306.330	60329.730	4.459
T3	-59298.227	60293.080	4.006
T3-1	-59243.398	60322.057	3.159
T4	-59315.939	60357.767	5.316
T5	-59298.984	60333.134	5.715
T6	-59290.448	60302.995	5.524
T7	-59287.888	60393.663	5.588
T8	-59271.475	60375.160	5.728
T9	-59256.704	60356.775	5.665
T10	-59246.610	60328.884	5.648
T11	-59301.912	60445.960	3.662

工事名	令和4年度 門川町衛生センター更新における測量・調査業務		
図面名	調査位置平面図		
年月日	令和5年2月		
尺度	1:500	図面番号	
会社名	株式会社 共同技術コンサルタント		
事務所名	門川町環境水道課		

土質ボーリング柱状図（標準貫入試験）

調査名 令和4年度門川町衛生センター更新における測量・調査業務

事業名 または 工事名

調査目的及び調査対象 土地造成 盛土・埋立て盛土のり面

ボーリング名	BorNo. 1	調査位置	宮崎県東臼杵郡門川町大字門川尾末			北緯	32° 27' 47.685"		
発注機関	門川町環境水道課環境係			調査期間	2022年 12月 5日 ~ 2022年 12月 8日		東経	131° 38' 31.596"	
調査業者名	株式会社 共同技術コンサルタント 電話 0985-29-0240	主任技師	坂本 修一 地質調査技師 登録番号: 第12996号	現場代理人	長友 大 地質調査技師 登録番号: 第21405号	コ鑑定者	福永 拓也 地質調査技師 登録番号: 第21292号	ボーリング責任者	熊本 剛士 地質調査技師 登録番号: 第21088号
孔口標高	T. P. 5.30m	角	180° 上下 90°	方位	北 0° 西 270° 東 90° 南 180°	地盤勾配	水平0° 鉛直 90° 0°	使用機種	試錐機 KR-100HB-1 エンジン ヤンマーTF70V-E
総削孔長	20.00m	度	0°	ポンプ	丸山MS156				

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	現場土質名 (模様)	現場土質名	地盤材料の工学的分類	色調	相對密度	相對稠度	地質時代名	記述	孔内水位 / 測定月日	標準貫入試験					試料採取		室内位置試験	削孔月日		
												深度-N値図			深度 (m)	100mmごとの打撃回数	打撃ごとの貫入量	50回の貫入量			自沈時の貫入量	深度 (m)
1	3.65	1.65		細粒分質砂礫		茶褐				盛土。径10mm以下の亜角礫～亜円礫を主体とする。最大確認礫径は、約50mm。所々細粒分の含有量が多い。		5	1.15	1	1	3	5	300				
2	2.40	2.90		礫混じり細粒分質砂		茶褐				細砂主体。上部に径10mm以下の礫分を含む。含水比高い。		5	2.15	1	2	2	5	300				
3				砂礫		褐灰				径50mm以下の粒径幅の広い礫分を主体とする。最大確認礫は、長さ約4cmの短柱状コア。礫形は、円礫～亜角礫。砂分は、粗砂～中砂。	12/06 3.77	21	3.15	6	8	7	21	300				12/5
4				砂礫		褐灰				径50mm以下の粒径幅の広い礫分を主体とする。最大確認礫は、長さ約4cmの短柱状コア。礫形は、円礫～亜角礫。砂分は、粗砂～中砂。	12/09 4.45	35	4.15	12	13	10	35	300				
5				砂礫		褐灰				径50mm以下の粒径幅の広い礫分を主体とする。最大確認礫は、長さ約4cmの短柱状コア。礫形は、円礫～亜角礫。砂分は、粗砂～中砂。	12/09 5.15	27	5.15	8	10	9	27	300				
6	-0.60	5.90		礫混じり砂		灰				細砂主体。上部にボラ等の径5mm程度の礫分や粗砂～中砂を混入する。深部は細粒の火山灰質土を混入する。最大確認礫径は、約30mm。	12/09 6.15	9	6.15	2	3	4	9	300				
7				礫混じり砂		灰				細砂主体。上部にボラ等の径5mm程度の礫分や粗砂～中砂を混入する。深部は細粒の火山灰質土を混入する。最大確認礫径は、約30mm。	12/09 6.45	8	7.15	2	3	3	8	300				12/6
8				礫混じり砂		灰				細砂主体。上部にボラ等の径5mm程度の礫分や粗砂～中砂を混入する。深部は細粒の火山灰質土を混入する。最大確認礫径は、約30mm。	12/09 7.15	8	8.15	2	2	2	6	300				
9	-3.90	9.20		火山灰質砂		灰白				細粒の火山灰質砂を主体とする。径2mm程度の軽石片、腐植物片を混入する。GL-10.95m付近に層境あり。	12/09 8.45	18	9.15	3	7	8	18	300				
10				火山灰質砂		灰白				細粒の火山灰質砂を主体とする。径2mm程度の軽石片、腐植物片を混入する。GL-10.95m付近に層境あり。	12/09 9.45	32	10.15	8	11	13	32	300				
11				火山灰質砂		灰白				細粒の火山灰質砂を主体とする。径2mm程度の軽石片、腐植物片を混入する。GL-10.95m付近に層境あり。	12/09 10.15	39	11.15	11	13	15	39	300				
12	-6.90	12.20		細粒分混じり砂		灰				細砂主体。部分的に貝殻片、中砂、軽石片、腐植物片を混入する。まれに礫分を含む。最大確認礫径は、約30mm。GL-12.60m、13.00m、14.00m、14.70m付近に腐植物片を多量に含む。	12/09 11.15	21	12.15	10	5	6	21	300				
13				細粒分混じり砂		灰				細砂主体。部分的に貝殻片、中砂、軽石片、腐植物片を混入する。まれに礫分を含む。最大確認礫径は、約30mm。GL-12.60m、13.00m、14.00m、14.70m付近に腐植物片を多量に含む。	12/09 12.15	11	13.15	3	4	4	11	300				
14				細粒分混じり砂		灰				細砂主体。部分的に貝殻片、中砂、軽石片、腐植物片を混入する。まれに礫分を含む。最大確認礫径は、約30mm。GL-12.60m、13.00m、14.00m、14.70m付近に腐植物片を多量に含む。	12/09 13.15	25	14.15	7	8	10	25	300				
15				細粒分混じり砂		灰				細砂主体。部分的に貝殻片、中砂、軽石片、腐植物片を混入する。まれに礫分を含む。最大確認礫径は、約30mm。GL-12.60m、13.00m、14.00m、14.70m付近に腐植物片を多量に含む。	12/09 14.15	11	15.15	3	4	4	11	300				
16				細粒分混じり砂		灰				細砂主体。部分的に貝殻片、中砂、軽石片、腐植物片を混入する。まれに礫分を含む。最大確認礫径は、約30mm。GL-12.60m、13.00m、14.00m、14.70m付近に腐植物片を多量に含む。	12/09 15.15	10	16.15	3	3	4	10	300				
17				細粒分混じり砂		灰				細砂主体。部分的に貝殻片、中砂、軽石片、腐植物片を混入する。まれに礫分を含む。最大確認礫径は、約30mm。GL-12.60m、13.00m、14.00m、14.70m付近に腐植物片を多量に含む。	12/09 16.15	16	17.15	4	5	7	16	300				
18	-12.60	17.90		細粒分混じり砂礫		暗灰				10cm程度の間隔で径30mm以下の礫分が密集する。礫形は、亜円礫を主とする。	12/09 17.15	18	18.15	9	6	3	18	300				
19				砂質シルト		暗灰				細粒分を主体とする。縞状に腐植物片、木片を混入する。砂分は細粒。上部で所々砂分の含有量が多くなる。GL-18.60～18.70m間は砂分の含有量が多い。	12/09 18.15	6	19.15	2	2	2	6	300				
20	-14.70	20.00		砂質シルト		暗灰				細粒分を主体とする。縞状に腐植物片、木片を混入する。砂分は細粒。上部で所々砂分の含有量が多くなる。GL-18.60～18.70m間は砂分の含有量が多い。	12/09 19.15	7	20.15	2	2	3	7	300				
21																						
22																						
23																						

土質ボーリング柱状図（標準貫入試験）

調査名 令和4年度門川町衛生センター更新における測量・調査業務

事業名 または 工事名

調査目的及び調査対象 土地造成 盛土・埋立て盛土のり面

ボーリング名	BorNo. 2	調査位置	宮崎県東臼杵郡門川町大字門川尾末			北緯	32° 27' 48.501"			
発注機関	門川町環境水道課環境係			調査期間	2022年 12月 13日 ~ 2022年 12月 19日			東経	131° 38' 30.783"	
調査業者名	株式会社 共同技術コンサルタント 電話 0985-29-0240		主任技師	坂本 修一 地質調査技士 登録番号: 第12996号	現場代理人	長友 大 地質調査技士 登録番号: 第21405号	コ鑑定者	福永 拓也 地質調査技士 登録番号: 第21292号	ボーリング責任者	熊本 剛士 地質調査技士 登録番号: 第21088号
孔口標高	T. P. 5.55m	角	180° 上下 90°		方位	北 0° 270° 西 90° 東 180° 南		地盤勾配	水平0° 鉛直 90° 0°	
総削孔長	20.00m	使用機種	試錐機 KR-100HB-1			エンジン	ヤンマーTF70V-E		ポンプ	丸山MS156

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	現場土質名 (模様)	現場土質名	地盤材料の工学的分類	色調	相對密度	相對稠度	地質時代名	記述	孔内水位 / 測定月日	標準貫入試験						試料採取	室原位置試験	削孔月日			
												深度-N値図		N	深度 (m)	100mmごとの打撃回数	打撃ごとの貫入量				50回の貫入量	自沈時の貫入量	深度 (m)
1			礫混じり砂混じり粘土	礫混じり砂混じり粘土		茶褐色				細粒分を主体とする。砂分は細砂を主とする。径10mm以下の亜円礫を混入。GL-0.90m以深は、礫分の混入量が少なくなる。	12/15 3.29	5	1.15	1	2	2	5	300					
2	3.00	2.55	細粒分質砂	細粒分質砂		茶褐色				細砂～中砂を主体とする。	12/15 3.29	7	2.15	2	2	3	7	300					
3	2.75	2.80	細粒分質砂	細粒分質砂		茶褐色				細砂～中砂を主体とする。	12/15 3.29	27	3.15	8	10	9	27	300					
4			細粒分混じり砂礫	細粒分混じり砂礫		褐色				粒径幅の広い礫分を主体とする。礫形は円礫～亜円礫。最大確認礫は、長さ4cmの短柱状コア。GL-6.00m以深は、礫径が小さくなる。	12/18 8.39	32	4.15	10	9	13	32	300					12/13
5			細粒分混じり砂礫	細粒分混じり砂礫		褐色				粒径幅の広い礫分を主体とする。礫形は円礫～亜円礫。最大確認礫は、長さ4cmの短柱状コア。GL-6.00m以深は、礫径が小さくなる。	12/18 8.39	26	5.15	8	8	10	26	300					
6			細粒分混じり砂礫	細粒分混じり砂礫		褐色				粒径幅の広い礫分を主体とする。礫形は円礫～亜円礫。最大確認礫は、長さ4cmの短柱状コア。GL-6.00m以深は、礫径が小さくなる。	12/18 8.39	16	6.15	6	5	5	16	300					
7			細粒分混じり砂礫	細粒分混じり砂礫		褐色				粒径幅の広い礫分を主体とする。礫形は円礫～亜円礫。最大確認礫は、長さ4cmの短柱状コア。GL-6.00m以深は、礫径が小さくなる。	12/18 8.39	18	7.15	7	5	6	18	300					12/14
8	-2.90	8.45	細粒分混じり砂礫	細粒分混じり砂礫		褐色				粒径幅の広い礫分を主体とする。礫形は円礫～亜円礫。最大確認礫は、長さ4cmの短柱状コア。GL-6.00m以深は、礫径が小さくなる。	12/18 8.39	29	8.15	8	11	10	29	300					
9			火山灰質砂	火山灰質砂		灰～灰白				中砂～粗砂を主体とする。礫分は、径20mm以下の円礫を主とする。深部は細粒の火山灰質砂を多く含む。GL-9.70m付近に腐植物片を多量に含む。	12/18 8.39	8	9.15	2	3	3	8	300					
10	-4.45	10.00	火山灰質砂	火山灰質砂		灰～灰白				中砂～粗砂を主体とする。礫分は、径20mm以下の円礫を主とする。深部は細粒の火山灰質砂を多く含む。GL-9.70m付近に腐植物片を多量に含む。	12/18 8.39	28	10.15	7	9	12	28	300					
11			火山灰質砂	火山灰質砂		灰～灰白				中砂～粗砂を主体とする。礫分は、径20mm以下の円礫を主とする。深部は細粒の火山灰質砂を多く含む。GL-9.70m付近に腐植物片を多量に含む。	12/18 8.39	37	11.15	10	12	15	37	300					
12	-6.80	12.35	礫混じり細粒分質砂	礫混じり細粒分質砂		暗灰				細粒の火山灰質砂を主体とする。全体に腐植物片を混入する。	12/18 8.39	30	12.15	12	9	9	30	300					
13			礫混じり細粒分質砂	礫混じり細粒分質砂		暗灰				細粒の火山灰質砂を主体とする。全体に腐植物片を混入する。	12/18 8.39	17	13.15	5	5	7	17	300					12/15
14	-9.30	14.85	礫混じり砂	礫混じり砂		暗灰				細砂を主体とする。全体に腐植物片、貝殻片、細粒分を含む。まれに径40mm程度の円礫～亜角礫を混入する。GL-13.00m、GL-13.80m、GL-14.85m付近に腐植物片を多く含む。	12/18 8.39	17	14.15	3	6	8	17	300					
15			礫混じり砂	礫混じり砂		暗灰				細砂を主体とする。全体に腐植物片、貝殻片、細粒分を含む。まれに径40mm程度の円礫～亜角礫を混入する。GL-13.00m、GL-13.80m、GL-14.85m付近に腐植物片を多く含む。	12/18 8.39	19	15.15	5	6	8	19	300					
16			砂礫	砂礫		暗灰				細砂を主体とする。径20mm以下の円礫を混入する。全体に貝殻片を混入する。GL-16.60m、16.80m付近に腐植物片を多量に混入する。	12/18 8.39	11	16.15	3	4	4	11	300					
17	-11.95	17.50	砂	砂		暗灰				細砂を主体とする。径20mm以下の円礫を混入する。全体に貝殻片を混入する。GL-16.60m、16.80m付近に腐植物片を多量に混入する。	12/18 8.39	17	17.15	4	6	7	17	300					
18			砂	砂		暗灰				径20mm以下の円礫を主体とする。貝殻片を混入する。最大確認礫径は、約50mm。	12/18 8.39	31	18.15	8	12	11	31	300					12/16
19	-13.25	18.80	砂	砂		暗灰				径20mm以下の円礫を主体とする。貝殻片を混入する。最大確認礫径は、約50mm。	12/18 8.39	17	19.15	5	5	7	17	300					12/19
20	-14.45	20.00	砂	砂		暗灰				中砂～細砂を主体とする。上部に径10mm以下の礫分を混入する。	12/18 8.39	18	20.15	4	6	8	18	300					
21																							
22																							
23																							

土質ボーリング柱状図（標準貫入試験）

調査名 令和4年度門川町衛生センター更新における測量・調査業務

事業名 または 工事名

調査目的及び調査対象 土地造成 盛土・埋立て盛土のり面

ボーリング名	BorNo. 3	調査位置	宮崎県東臼杵郡門川町大字門川尾末			北緯	32° 27' 49.957"										
発注機関	門川町環境水道課環境係			調査期間	2022年 12月 14日 ~ 2022年 12月 22日			東経	131° 38' 31.679"								
調査業者名	株式会社 共同技術コンサルタント 電話 0985-29-0240		主任技師	坂本 修一 地質調査技士 登録番号: 第12996号	現場代理人	長友 大 地質調査技士 登録番号: 第21405号	コ鑑定者	福永 拓也 地質調査技士 登録番号: 第21292号	ボーリング責任者	長友 誠 地質調査技士 登録番号: 第14643号							
孔口標高	T. P. 5.70m	角	180° 上下 90°		方位	北 0° 西 270° 東 90° 南 180°		地盤勾配	水平 0° 鉛直 90° 0°		使用機種	試錐機	YBM-05-D	エンジン	ヤンマーNF90	ポンプ	丸山MS335EA
総削孔長	20.00m																

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	現場土質名 (模様)	現場土質名	地盤材料の工学的分類	色調	相対密度	相対稠度	地質時代名	記述	孔内水位 / 測定月日	標準貫入試験						試料採取		室内位置試験	削孔月日				
												深度-N値図			N	深	100mmごとの打撃回数	打撃ごとの貫入量	50回の貫入量			自沈時の貫入量	深	試料採取方法	
												度	度	値	度	量	量	量	度	号	法	度	日		
1	4.25	1.45	細粒分混じり砂礫	茶褐						盛土。径50mm以下の粒径幅の広い礫分を主体とする。砂分は粗砂～中砂。コンクリート片を含む。		1.15	1	2	1	4	300								
2			砂質粘土	茶褐						細粒分を主体とする。非常に締まっている。指圧にて変形可能。砂分は細砂を主とする。		1.45											12/14		
3	2.65	3.05										2.15	3	3	3	9	300								
4			細粒分混じり砂礫							径40mm以下の粒径幅の広い礫分を主体とする。最大確認礫径は、約80mm。礫形は、円礫～亜角礫。所々で砂分の混入量が多い。砂分は中砂を主とする。GL-5.70m以深は、礫径が小さくなる。	12/21 12/22	3.15	10	11	11	32	300								
5												3.45													
6												4.15	10	11	13	34	300								
7												4.45													
8												5.15	11	10	8	29	300						12/15		
9												5.45													
10	-3.65	9.35	細粒分混じり砂礫混じり砂	暗灰						細砂を主体とする。火山灰質土を混入する。貝殻片、腐植物片、軽石片を混入する。		6.15	4	5	4	13	300								
11	-5.10	10.80										6.45													
12			細粒分混じり火山灰質砂	灰白						細粒の火山灰質砂を主体とする。全体に腐植物片、貝殻片を混入する。		7.15	6	4	7	17	300								
13	-7.80	13.50										7.45													
14			細粒分質砂	暗灰						細砂を主体とする。全体に細粒分を含む。腐食物片、貝殻片を含む。深部に礫分を含む。		8.15	6	5	5	16	300								
15	-9.75	15.45										8.45													
16			礫混じり砂	淡灰						細砂～中砂を主体とする。径10mm以下の亜円礫を混入する。まれに径50mm程度の礫分を含む。貝殻片、腐植物片、軽石片を混入する。所々で礫分の混入量が多くなり砂礫状を呈する。		9.15	4	4	5	13	300								
17	-11.75	17.45										9.45													
18			礫質砂	暗灰						粗砂～中砂を主体とする。礫分は、径20mm以下の亜円礫を主体とする。最大確認礫径は、約50mm。貝殻片を含む。GL-17.70m付近に軽石を多く混入する。掘進中、GL-18.00m以深でボーリングが発生。		10.15	2	3	5	10	300								
19												10.45													
20	-14.30	20.00										11.15	7	10	12	29	300						12/16		
21												11.45													
22												12.15	7	7	9	23	300								
23												12.45													
												13.15	4	4	6	14	300								
												13.45													
												14.15	2	2	4	8	300								
												14.45													
												15.15	3	3	4	10	300								
												15.45													
												16.15	4	13	21	38	300						12/19		
												16.45													
												17.15	10	12	12	34	300								
												17.45													
												18.15	15	15	15	45	300								
												18.45													
												19.15	13	14	14	41	300						12/21		
												19.45													
												20.15	13	15	14	42	300						12/22		
												20.45													

土質ボーリング柱状図（標準貫入試験）

調査名 令和4年度門川町衛生センター更新における測量・調査業務

事業名または工事名

調査目的及び調査対象 土地造成 盛土・埋立て盛土のり面

ボーリング名	BorNo.4	調査位置	宮崎県東臼杵郡門川町大字門川尾末			北緯	32°27'48.691			
発注機関	門川町環境水道課環境係			調査期間	2022年11月25日～2022年11月30日		東経	131°38'33.444		
調査業者名	株式会社 共同技術コンサルタント 電話 0985-29-0240		主任技師	坂本 修一 地質調査技師 登録番号: 第12996号	現場代理人	長友 大 地質調査技師 登録番号: 第21405号	コ鑑定者	福永 拓也 地質調査技師 登録番号: 第21292号	ボーリング責任者	熊本 剛士 地質調査技師 登録番号: 第21088号
孔口標高	T.P. 5.16m	角度			方位			地盤勾配		
総削孔長	20.00m	試錐機	KR-100HB-1		エンジン	ヤンマーTF70V-E		ポンプ	丸山MS156	

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	現場土質名 (模様)	現場土質名	地盤材料の工学的分類	色調	相對密度	相對稠度	地質時代名	記述	孔内水位 / 測定月日	標準貫入試験					試料採取	室内位置試験	削孔月日					
												深度 - N値図		N	深度 (m)	100mmごとの打撃回数				打撃ごとの貫入量	50回の貫入量	自沈時の貫入量	深度 (m)	試料番号
1				砂質礫質シルト		褐灰				盛土。細粒分を主体とする。径20mm以下の垂角礫を混入する。砂分は細粒。GL-1.70～-1.80m間は、砂分が粗粒となり砂礫状を呈する。		8	1.15	2	2	4	8	300						
2	3.16	2.00		砂質粘土		茶褐				旧耕作土と考えられる。細粒分を主体とする。GL-2.00mの貫入試料中に植物片を混入する。		8	1.45	2	3	3	8	300						
3	2.36	2.80		細粒分混じり礫混じり砂		茶褐				中砂～細砂を主体とする。径10mm以下の垂角礫を混入する。		5	2.15	2	1	2	5	300						
4	1.06	4.10		細粒分混じり砂礫		茶褐				中砂～細砂を主体とする。径10mm以下の垂角礫を混入する。		23	3.15	2	7	9	23	300						
5				細粒分混じり砂礫		茶褐				径50mm以下の粒径幅の広い礫分を主体とする。最大確認礫径は、長さ約5cmの短柱状コア。砂分は中砂を主とする。	11/30 3.93	21	3.45	7	7	9	23	300					11/25	
6				礫混じり砂		暗灰				細砂主体。径10mm以下の垂角礫～垂円礫を混入する。GL-8.50m以深で腐植物片を混入。GL-8.70～-8.90m間は、砂分が多く粒径が粗い。GL-9.80m以深で腐植物片を多く混入する。GL-10.50m以深で貝殻片を混入する。		19	4.15	6	8	7	21	300						
7	-1.69	6.85		礫混じり砂		暗灰				細砂主体。径10mm以下の垂角礫～垂円礫を混入する。GL-8.50m以深で腐植物片を混入。GL-8.70～-8.90m間は、砂分が多く粒径が粗い。GL-9.80m以深で腐植物片を多く混入する。GL-10.50m以深で貝殻片を混入する。		10	4.45	7	6	6	19	300						
8				礫混じり砂		暗灰				細砂主体。径10mm以下の垂角礫～垂円礫を混入する。GL-8.50m以深で腐植物片を混入。GL-8.70～-8.90m間は、砂分が多く粒径が粗い。GL-9.80m以深で腐植物片を多く混入する。GL-10.50m以深で貝殻片を混入する。		9	5.15	3	3	4	10	300						
9				礫混じり砂		暗灰				細砂主体。径10mm以下の垂角礫～垂円礫を混入する。GL-8.50m以深で腐植物片を混入。GL-8.70～-8.90m間は、砂分が多く粒径が粗い。GL-9.80m以深で腐植物片を多く混入する。GL-10.50m以深で貝殻片を混入する。		7	5.45	2	2	3	7	300						11/28
10	-5.54	10.70		礫混じり砂		暗灰				細砂主体。径10mm以下の垂角礫～垂円礫を混入する。GL-8.50m以深で腐植物片を混入。GL-8.70～-8.90m間は、砂分が多く粒径が粗い。GL-9.80m以深で腐植物片を多く混入する。GL-10.50m以深で貝殻片を混入する。		7	6.15	2	2	3	7	300						
11				礫混じり砂		暗灰				細砂主体。径10mm以下の垂角礫～垂円礫を混入する。GL-8.50m以深で腐植物片を混入。GL-8.70～-8.90m間は、砂分が多く粒径が粗い。GL-9.80m以深で腐植物片を多く混入する。GL-10.50m以深で貝殻片を混入する。		10	6.45	3	3	3	9	300						
12	-7.59	12.75		細粒分混じり火山灰質砂		灰白				微細～細粒の火山灰質砂を主体とする。所々に腐植物片、貝殻片を混入する。深部ほど粒径が細粒となる。		26	7.15	2	2	3	7	300						
13				細粒分混じり砂		暗灰				微細～細粒の火山灰質砂を主体とする。所々に腐植物片、貝殻片を混入する。深部ほど粒径が細粒となる。		29	7.45	7	8	11	26	300						
14				細粒分混じり砂		暗灰				微細～細粒の火山灰質砂を主体とする。所々に腐植物片、貝殻片を混入する。深部ほど粒径が細粒となる。		10	8.15	8	9	12	29	300						
15				細粒分混じり砂		暗灰				微細～細粒の火山灰質砂を主体とする。所々に腐植物片、貝殻片を混入する。深部ほど粒径が細粒となる。		22	8.45	3	3	4	10	300						
16				細粒分混じり砂		暗灰				微細～細粒の火山灰質砂を主体とする。所々に腐植物片、貝殻片を混入する。深部ほど粒径が細粒となる。		7	9.15	2	2	3	7	300						
17				細粒分混じり砂		暗灰				微細～細粒の火山灰質砂を主体とする。所々に腐植物片、貝殻片を混入する。深部ほど粒径が細粒となる。		10	9.45	2	2	3	7	300						
18	-12.64	17.80		細粒分混じり砂礫		暗灰				細砂を主体とする。腐植物片、木片、貝殻片を混入する。所々に径20mm以下の垂角礫を混入する。		22	10.15	7	7	10	22	300						
19	-14.04	19.20		砂質シルト		暗灰				細砂を主体とする。腐植物片、木片、貝殻片を混入する。所々に径20mm以下の垂角礫を混入する。		32	10.45	5	5	7	22	300						
20	-14.84	20.00		砂質シルト		暗灰				細砂を主体とする。腐植物片、木片、貝殻片を混入する。所々に径20mm以下の垂角礫を混入する。		12	11.15	7	8	11	26	300						
21				砂質シルト		暗灰				細砂を主体とする。腐植物片、木片、貝殻片を混入する。所々に径20mm以下の垂角礫を混入する。		5	11.45	2	2	3	7	300						
22				砂質シルト		暗灰				細砂を主体とする。腐植物片、木片、貝殻片を混入する。所々に径20mm以下の垂角礫を混入する。		7	12.15	2	2	3	7	300						
23				砂質シルト		暗灰				細砂を主体とする。腐植物片、木片、貝殻片を混入する。所々に径20mm以下の垂角礫を混入する。		12	12.45	2	2	3	7	300						
				砂質シルト		暗灰				細砂を主体とする。腐植物片、木片、貝殻片を混入する。所々に径20mm以下の垂角礫を混入する。		5	13.15	7	3	2	12	300						
				砂質シルト		暗灰				細砂を主体とする。腐植物片、木片、貝殻片を混入する。所々に径20mm以下の垂角礫を混入する。		12	13.45	1	2	2	5	300						
				砂質シルト		暗灰				細砂を主体とする。腐植物片、木片、貝殻片を混入する。所々に径20mm以下の垂角礫を混入する。		5	14.15	7	8	11	26	300						
				砂質シルト		暗灰				細砂を主体とする。腐植物片、木片、貝殻片を混入する。所々に径20mm以下の垂角礫を混入する。		12	14.45	2	2	3	7	300						
				砂質シルト		暗灰				細砂を主体とする。腐植物片、木片、貝殻片を混入する。所々に径20mm以下の垂角礫を混入する。		5	15.15	2	3	3	8	300						
				砂質シルト		暗灰				細砂を主体とする。腐植物片、木片、貝殻片を混入する。所々に径20mm以下の垂角礫を混入する。		8	15.45	2	3	3	8	300						
				砂質シルト		暗灰				細砂を主体とする。腐植物片、木片、貝殻片を混入する。所々に径20mm以下の垂角礫を混入する。		32	16.15	7	8	11	26	300						
				砂質シルト		暗灰				細砂を主体とする。腐植物片、木片、貝殻片を混入する。所々に径20mm以下の垂角礫を混入する。		12	16.45	2	2	3	7	300						
				砂質シルト		暗灰				細砂を主体とする。腐植物片、木片、貝殻片を混入する。所々に径20mm以下の垂角礫を混入する。		5	17.15	7	3	2	12	300						
				砂質シルト		暗灰				細砂を主体とする。腐植物片、木片、貝殻片を混入する。所々に径20mm以下の垂角礫を混入する。		12	17.45	2	3	3	8	300						
				砂質シルト		暗灰				細砂を主体とする。腐植物片、木片、貝殻片を混入する。所々に径20mm以下の垂角礫を混入する。		5	18.15	11	8	13	32	300						
				砂質シルト		暗灰				細砂を主体とする。腐植物片、木片、貝殻片を混入する。所々に径20mm以下の垂角礫を混入する。		12	18.45	7	3	2	12	300						
				砂質シルト		暗灰				細砂を主体とする。腐植物片、木片、貝殻片を混入する。所々に径20mm以下の垂角礫を混入する。		5	19.15	1	2	2	5	300						
				砂質シルト		暗灰				細砂を主体とする。腐植物片、木片、貝殻片を混入する。所々に径20mm以下の垂角礫を混入する。		5	19.45	7	3	2	12	300						
				砂質シルト		暗灰				細砂を主体とする。腐植物片、木片、貝殻片を混入する。所々に径20mm以下の垂角礫を混入する。		5	20.15	1	2	2	5	300						
				砂質シルト		暗灰				細砂を主体とする。腐植物片、木片、貝殻片を混入する。所々に径20mm以下の垂角礫を混入する。		5	20.45	1	2	2	5	300						

土質ボーリング柱状図（標準貫入試験）

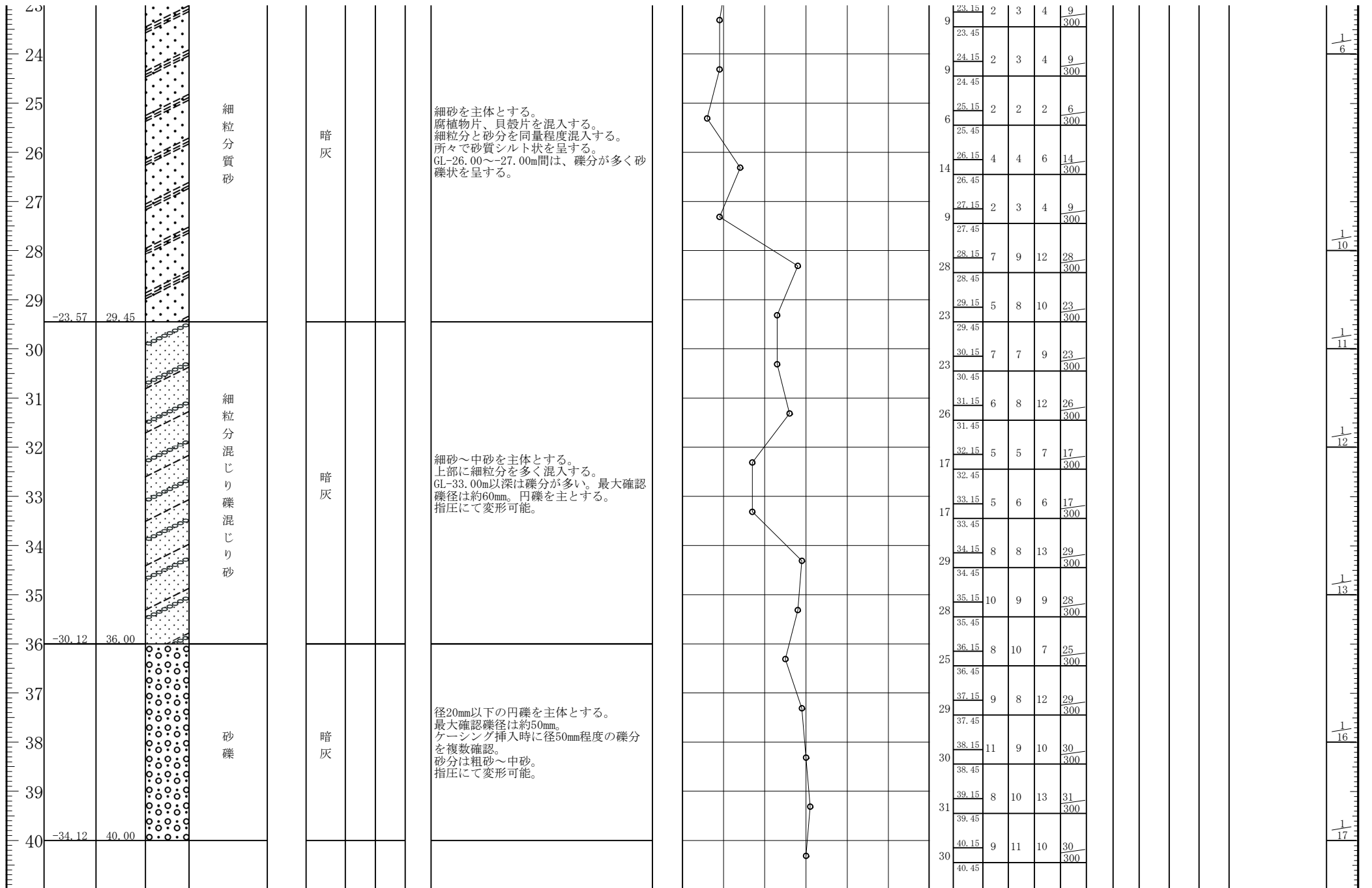
調査名 令和4年度門川町衛生センター更新における測量・調査業務

事業名 または 工事名

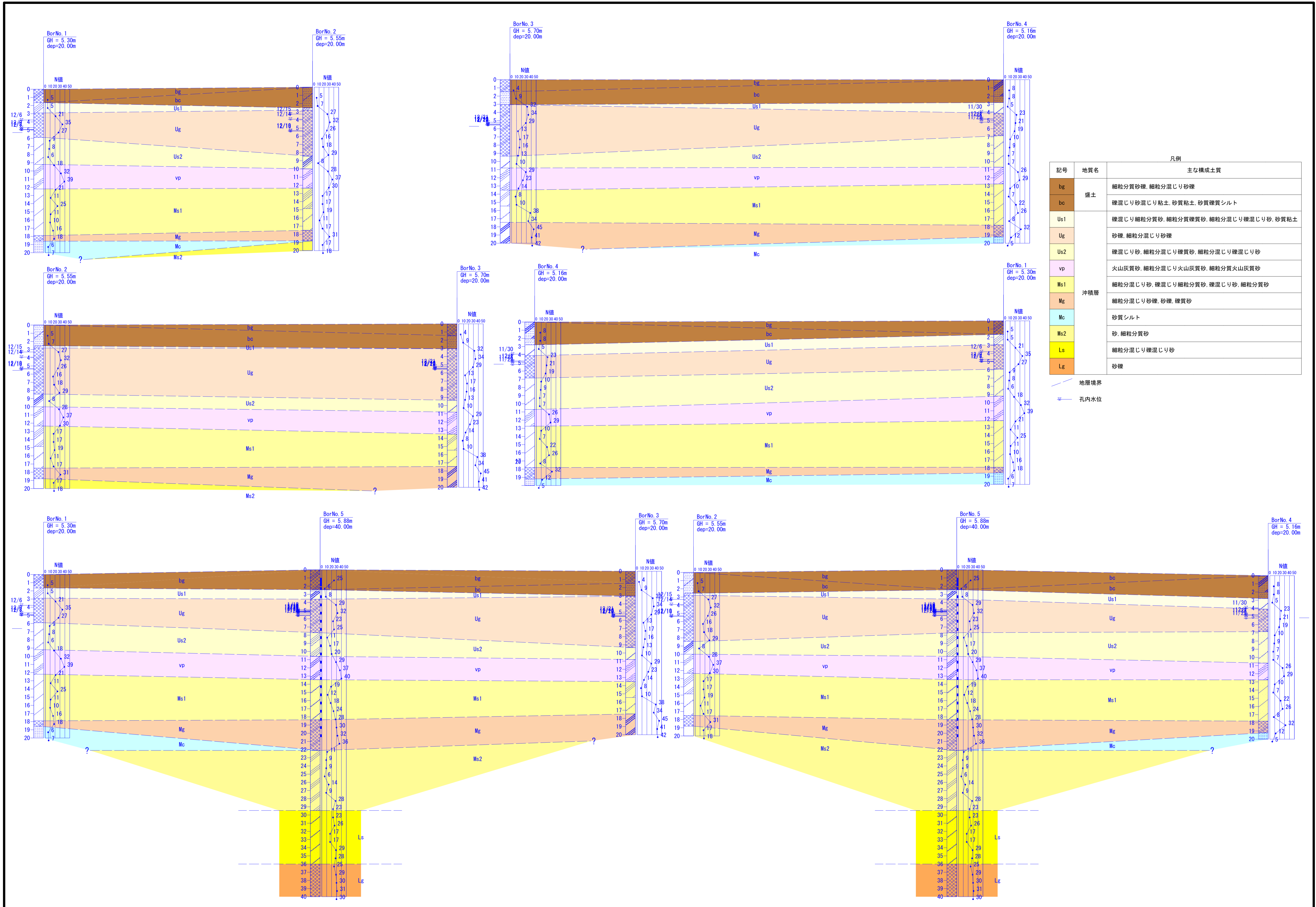
調査目的及び調査対象 土地造成 盛土・埋立て盛土のり面

ボーリング名	BorNo. 5	調査位置	宮崎県東臼杵郡門川町大字門川尾末			北緯	32° 27' 48.732"			
発注機関	門川町環境水道課環境係			調査期間	2022年 12月 21日 ~ 2023年 1月 17日			東経	131° 38' 31.986"	
調査業者名	株式会社 共同技術コンサルタント 電話 0985-29-0240		主任技師	坂本 修一 地質調査技士 登録番号: 第12996号	現場代理人	長友 大 地質調査技士 登録番号: 第21405号	コ鑑定者	福永 拓也 地質調査技士 登録番号: 第21292号	ボーリング責任者	熊本 剛士 地質調査技士 登録番号: 第21088号
孔口標高	T. P. 5.88m	角	180° 上下 90°		方位	北 0° 西 270° 東 90° 南 180°		地盤勾配	水平0° 鉛直 90° 0°	
総削孔長	40.00m	使用機種	試錐機 KR-100HB-1			エンジン	ヤンマーTF70V-E		ポンプ	丸山MS156

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	現場土質名 (模様)	現場土質名	地盤材料の工学的分類	色調	相對密度	相對稠度	地質時代名	記事	孔内水位 / 測定月日	標準貫入試験					試料採取	室内位置試験	削孔月日				
												深度 (m)	N値	100mmごとの打撃回数	50回の貫入量	自沈時の貫入量							
1				細粒分質砂礫		茶褐				盛土。径20mm以下の亜角礫～亜円礫を主体とする。最大確認礫径は、約30mm。風化岩礫が粘土化している。所々に礫混じり粘土状を呈する。砂分は細砂を主とする。		25	1.15	11	7	7	25	300	1.00	T-5-1	○	土粒子密度含水比粒度液性塑性濕潤圧密	
2	3.43	2.45		砂質粘土		茶褐				盛土。細粒分を主体とする。砂分は細砂。指圧にて変形可能。		6	2.15	3	1	2	6	300	3.40	P-5-1	○	土粒子密度含水比粒度液性塑性	12/21
3	3.28	2.60		細粒分質礫質砂		茶褐				細砂～中砂を主体とする。GL-2.80～2.90m間は、粗粒となる。		8	3.15	2	3	3	8	300	3.15	P-5-2	○	土粒子密度含水比粒度液性塑性	
4	2.28	3.60		細粒分混じり砂礫		暗灰				粒径幅の広い礫分を主体とする。礫形は、円礫～亜円礫を主とする。最大確認礫径は、約80mm。上部は細粒分が多く、礫径が小さい。	01/12	29	4.15	9	8	12	29	300	4.15	P-5-3	○	土粒子密度含水比粒度液性塑性	
5				細粒分混じり砂礫		暗灰						32	4.45						4.45	P-5-4	○	土粒子密度含水比粒度液性塑性	
6				細粒分混じり砂礫		暗灰						23	5.15	11	12	9	32	300	5.15	P-5-5	○	土粒子密度含水比粒度液性塑性	12/22
7				細粒分混じり砂礫		暗灰						25	6.15	7	7	9	23	300	6.15	P-5-6	○	土粒子密度含水比粒度液性塑性	
8	-1.82	7.70		細粒分質礫混じり砂		褐～暗灰				細砂～中砂を主体とする。上部に径40mm以下の礫分を含む。深部に火山灰質土を含む。GL-9.90m付近に腐植物片を含む。		11	7.15	8	7	10	25	300	7.15	P-5-7	○	土粒子密度含水比粒度液性塑性	12/23
9				細粒分質礫混じり砂		褐～暗灰						17	7.45						7.45	P-5-8	○	土粒子密度含水比粒度液性塑性	
10	-4.72	10.60		細粒分質礫混じり砂		褐～暗灰						20	8.15	3	4	4	11	300	8.15	P-5-9	○	土粒子密度含水比粒度液性塑性	
11				細粒分質礫混じり砂		褐～暗灰						17	8.45						8.45	P-5-10	○	土粒子密度含水比粒度液性塑性	
12				細粒分質火山灰質砂		灰白				細粒の火山灰質土を主体とする。腐植物片を混入する。GL-12.80m付近は指圧砕困難で縮まっている。		29	9.15	4	5	8	17	300	9.15	P-5-11	○	土粒子密度含水比粒度液性塑性	12/26
13	-7.57	13.45		細粒分質火山灰質砂		灰白						37	9.45						9.45	P-5-12	○	土粒子密度含水比粒度液性塑性	
14				細粒分質火山灰質砂		灰白						20	10.15	6	6	8	20	300	10.15	P-5-13	○	土粒子密度含水比粒度液性塑性	
15				細粒分質火山灰質砂		灰白						29	10.45						10.45	P-5-14	○	土粒子密度含水比粒度液性塑性	
16				細粒分質火山灰質砂		灰白						40	11.15	8	10	11	29	300	11.15	P-5-15	○	土粒子密度含水比粒度液性塑性	
17				細粒分質火山灰質砂		灰白						37	11.45						11.45	P-5-16	○	土粒子密度含水比粒度液性塑性	12/26
18				細粒分質火山灰質砂		灰白						40	12.15	10	12	15	37	300	12.15	P-5-17	○	土粒子密度含水比粒度液性塑性	
19				細粒分質火山灰質砂		灰白						40	12.45						12.45	P-5-18	○	土粒子密度含水比粒度液性塑性	
20				細粒分質火山灰質砂		灰白						40	13.15	11	13	16	40	300	13.15	P-5-19	○	土粒子密度含水比粒度液性塑性	
21				細粒分質火山灰質砂		灰白						19	13.45						13.45	P-5-20	○	土粒子密度含水比粒度液性塑性	
22				細粒分質火山灰質砂		灰白						12	14.15	5	7	7	19	300	14.15	P-5-21	○	土粒子密度含水比粒度液性塑性	
23				細粒分質火山灰質砂		暗灰				細砂～中砂を主体とする。貝殻片、腐植物片を混入する。まれに径60mmの円礫を含む。GL-13.70～13.80m間は、細粒分が多い。GL-14.80m付近は細粒分が多い。		12	14.45						14.45	P-5-22	○	土粒子密度含水比粒度液性塑性	12/27
24				細粒分質火山灰質砂		暗灰						18	15.15	3	4	5	12	300	15.15	P-5-23	○	土粒子密度含水比粒度液性塑性	
25				細粒分質火山灰質砂		暗灰						18	16.15	5	6	7	18	300	16.15	P-5-24	○	土粒子密度含水比粒度液性塑性	
26				細粒分質火山灰質砂		暗灰						24	16.45						16.45	P-5-25	○	土粒子密度含水比粒度液性塑性	
27				細粒分質火山灰質砂		暗灰						24	17.15	7	7	10	24	300	17.15	P-5-26	○	土粒子密度含水比粒度液性塑性	
28				細粒分質火山灰質砂		暗灰						28	17.45						17.45	P-5-27	○	土粒子密度含水比粒度液性塑性	
29				細粒分質火山灰質砂		暗灰						28	18.15	7	9	12	28	300	18.15	P-5-28	○	土粒子密度含水比粒度液性塑性	
30				細粒分質火山灰質砂		暗灰				径10mm以下の円礫を主体とする。最大確認礫径は、約30mm。砂分は、中砂～細砂。深部は礫径が小さくなり、砂分が多くなる。		30	19.15	9	11	10	30	300	19.15	P-5-29	○	土粒子密度含水比粒度液性塑性	
31				細粒分質火山灰質砂		暗灰						32	19.45						19.45	P-5-30	○	土粒子密度含水比粒度液性塑性	1/5
32				細粒分質火山灰質砂		暗灰						32	20.15	10	9	13	32	300	20.15	P-5-31	○	土粒子密度含水比粒度液性塑性	
33				細粒分質火山灰質砂		暗灰						36	20.45						20.45	P-5-32	○	土粒子密度含水比粒度液性塑性	
34				細粒分質火山灰質砂		暗灰						36	21.15	8	13	15	36	300	21.15	P-5-33	○	土粒子密度含水比粒度液性塑性	
35				細粒分質火山灰質砂		暗灰						11	21.45						21.45	P-5-34	○	土粒子密度含水比粒度液性塑性	
36				細粒分質火山灰質砂		暗灰						11	22.15	3	4	4	11	300	22.15	P-5-35	○	土粒子密度含水比粒度液性塑性	
37				細粒分質火山灰質砂		暗灰						9	22.45						22.45	P-5-36	○	土粒子密度含水比粒度液性塑性	
38				細粒分質火山灰質砂		暗灰						9	23.15	2	3	4	9	300	23.15	P-5-37	○	土粒子密度含水比粒度液性塑性	
39				細粒分質火山灰質砂		暗灰						9	23.45						23.45	P-5-38	○	土粒子密度含水比粒度液性塑性	1/6



BorNo. 5



凡例

記号	地質名	主な構成土質
bg	盛土	細粒分質砂礫, 細粒分混じり砂礫
bc		礫混じり砂混じり粘土, 砂質粘土, 砂質礫質シルト
Us1	沖積層	礫混じり細粒分質砂, 細粒分質礫質砂, 細粒分混じり礫混じり砂, 砂質粘土
Ug		砂礫, 細粒分混じり砂礫
Us2		礫混じり砂, 細粒分混じり礫質砂, 細粒分混じり礫混じり砂
vp		火山灰質砂, 細粒分混じり火山灰質砂, 細粒分火山灰質砂
Ms1	沖積層	細粒分混じり砂, 礫混じり細粒分質砂, 礫混じり砂, 細粒分質砂
Mg		細粒分混じり砂礫, 砂礫, 礫質砂
Mc		砂質シルト
Ls	沖積層	砂, 細粒分質砂
Lg		砂礫

地層境界
 孔内水位